



岐阜市は斎藤道三や織田信長など名高い戦国武将が活躍した舞台です。道三・信長は何故岐阜市を選んだのでしょうか？英雄たちが欲しかった岐阜！その歴史を作ってきた武将や武士団、彼らの知られざる活躍と一緒にひも解いていきましょう。身近なところにある歴史が、新たな気付きにつながるかもしれません。

源頼政と織田秀信



岐阜市ぎふ魅力づくり推進部 文化財保護課 特任研究員 **内堀 信雄**
プロフィール
昭和34年 栃木県宇都宮市に生まれる
昭和61年 名古屋大学大学院文学研究科(考古学)卒業
岐阜市教育委員会にて信長公居館跡発掘調査などを担当。
主な著書
『東海の名城を歩く 岐阜編』(共編、吉川弘文館、令和元年)
『戦国美濃の城と都市』(高志書院、令和3年)

岐阜市ゆかりの武将源頼政と織田秀信。生きた時代は400年以上離れていますが、頼政は古代末の源平合戦(1180~85年)、秀信は中世末の関ヶ原の戦い(1600年)という歴史に残る合戦において共に重要な役割を演じました。本日は一人の武将ゆかりの場所をご紹介します。



写真1 真長寺石庭

1 三輪釈迦の謎

岐阜市北部三輪地域(旧山県郡)に所在する古刹真長寺は石庭(市指定名勝、写真1)で有名ですが、平安時代後期の釈迦如来坐像も伝えられています。その作風は、宇治平等院に残る阿弥陀如来の作

者定朝の様式に近いという専門家の指摘があります。三輪釈迦の名で知られるこの仏像は、奈良からやってきた三輪氏が山県用水工事に際して造像したとも言われますが同時代の記録は無く、来歴は謎に包まれています。

系統)とされており、なかでも国直は「山県」を名乗り、山県郡に拠点があったと推定されています。こうしてみると、関市植野から岐阜市三輪にかけての一带(旧山県郡)は、京都とのつながりが深い美濃源氏「頼綱流」の本拠地であり、彼らの信仰の証が三輪釈迦であるというストーリーが浮かび上がってきます。

2 源頼政首塚

ところで、真長寺から南東1.2km程にある関市植野(旧山県郡)の蓮華寺には源頼政首塚が残されています。源頼政は従三位という高い位階を持つ武家源氏を代表する人物で、治承4年(1180)以仁王の拳兵に従い平氏と戦い、宇治平等院で敗死します。頼政の遺骨を埋葬したのがこの首塚と伝えられています。源頼政や叔父源国直は美濃源氏「頼綱流」(4月号で紹介した国房流・重宗流とは別

3 石河氏と首塚
さて、江戸時代になって尾張藩は領地内にある首塚の荒廃を嘆き、源頼政は縁祖であることから、寛文六年(1666)に墓を整備し寺を再興するとともに亀をかたどった台石をもつ墓碑(亀状碑)を建立します(写真2)。寛文11年(16



写真2 源頼政墓(関市蓮華寺)

71)に正光は亡くなり、蓮華寺に葬られます。以後歴代の石河家領主はこの地に葬られており、現在「石河家菩提所」として関市の史跡に指定されています。

4 織田秀信と太閤堤

織田秀信は織田信長の孫で、文禄元年(1592)に岐阜城最後の城主(13万3千石)となります。鏡島新湊町の特権を保障したことや、慶長5年(1600)8月23日の関ヶ原合戦前哨戦岐阜城の戦い敗軍の将であることはよく知られていますが、太閤堤築堤も行っていたようです。

太閤堤とは、豊臣秀吉が伏見城築城の際に、城下町伏見へ交通を集中させるために築いた複数の堤防のことです。幕末から明治の初め頃にまとめられた『宇治里袋』に

は「文禄三年(1594)大椋(小倉)より伏見まで新堤(太閤堤)築きなされ候。御奉行岐阜中納言(織田秀信)殿(カッコ内は筆者注)と書かれています。堤は当時存在した巨椋池の中に築かれ、堤の上に大和街道が移されます。

築堤に従事していたのではないかと推定しています。さらに想像をたくましくするならば、貞泰のこの時の経験が尉殿堤(岐阜市史跡写真3)築堤(1608年)に役立ったのかもしれない。

織田秀信が太閤堤を築いたのと同じ文禄三年、加藤貞泰は美濃国黒野城主として厚見郡と方県郡内合わせて4万石を与えられます。織田秀信の領地の一部割いて新たに領地としているようです。加藤貞泰は秀信の与力(主君から別の武将に付属された者)となりますので、貞泰は秀信のもとで太閤堤

ちなみに、平成19年(2007)に宇治橋下流の宇治川右岸で太閤堤と考えられる遺構が発掘され、石を張ったり積んだりした護岸や川へ張り出した構造物などが見つけられ、大きな話題を呼びました。秀信が作った小倉堤とは別の堤ですが、当時の太閤堤の姿がよくわかります。現在国史跡宇治川太閤堤跡(写真4)として整備されています。



写真3 尉殿堤記念碑



写真4 宇治川太閤堤(宇治市)

*今回は2026年3月号です。特集ページでお会いしましょう。

*参考文献 ●星野直哉2006「定朝への夢：真長寺釈迦如来像」三輪山真長寺文化財保存会より 第20号 ●三輪山真長寺文化財保存会2004「真長寺古文書読解書 第一巻」●岐阜県2001「わかりやすい岐阜県史」●大塚章1996「平安時代の美濃国と武義郡」新修関市史通史編自然・原始・中世 ●宇治市歴史資料館2004「取蔵文書調査報告書10」